

民主文学

1月号から新連載スタート

この機会に、
『民主文学』を
ぜひご購読くだ
さい。



(マニラの夜景)



ある日本の自動車会社で部署」と「外注」された先は、マニラのビジネスセンター。同じ仕事を続けたいと、三十代の主人公たちは外注先に転籍してマニラに赴任する。そこではすべてが数値で管理され、日本以上に効率化されていた。同僚は各国の若者たち。軍隊出身のエンジニア、木セ。元教師の若き管理職アンジェリカ、そして、謎の日本人岡本先生。主人公たちはマニラで新しい生き方を摸索してゆく。

メトロ・マニラ

北岡 伸之(きたおか のぶゆき)

一九八二年生まれ、東京都出身。米国を経て現在静岡県在住。外資系事業会社勤務。渓流九条の会員。

小説に「源流へ」(第21回民主文学新人賞佳作)、「赤熊」「啓開のトラローブ」。

テーマは、源流釣り、鮎の毛鉤釣り、現在の多国籍環境での若者を取り巻く世界。

作者の言葉

今、ITやプロジェクト管理の国際的な方法論では、従来の、ヒト、モノ、力、時間に加え、人間の感情が計数可能な資源として扱う潮流があります。このような状況で、感情はどうのように、たちの職場や生活と関係するのか。若者たちは何に苦しみ、何を求めているのか。なぜ立ち上がらないのか。

そういったことを考えながら、この話を書きました。読者の方が楽しめるよう、海外の習慣や文化もまじえた話に仕上げたつもりです。民主文学では、あまり見ない舞台かもしれません。異世界に転生した気分で、読んでいただければ幸いです。

マニラのビジネスセンターでは数カ国の若者が流暢な日本語で顧客の電話を受けていた。

購読申込書

申し込み

月 日

民主文学購読費 月額1000円(送料込み)

FAX番号 03(5940)6339

いずれかに○印をつけてください。

- () 1月号より定期購読する。
- () 「メトロ・マニラ」連載中
- 期間のみ定期購読する。

お名前

ご住所〒

電話番号